

# 全国統一品質管理監査結果報告書

(平成29年度)

和歌山県生コンクリート品質管理監査会議



## 〔 目 次 〕

はじめに	
全国統一品質管理監査制度の仕組み	1
和歌山県生コンクリート品質管理監査会議委員名簿	2
I 品質管理監査実施工場	3
II 品質管理監査結果	3
1. 品質管理監査の概要	3
2. 監査の評価・判定基準	4
3. 監査結果の総括	5
A 総括的事項の調査	5
B 個別的事項の調査	6～8
C 実地調査 ・ 抜取試料の概要	9
① 計量精度の検査	9
② 製品の検査 ○ 圧縮強度	10
○ スランプ又はスランプフロー及び空気量	
○ 塩化物含有量	11
③ 容積の検査	11
D クロージング会議出欠	11
III 平成29年度 全国統一品質管理監査結果集計表	12
IV 平成29年度 全国統一品質管理監査受審工場名簿	13



## はじめに

この報告書は、産・官・学体制で構成する和歌山県生コンクリート品質管理監査会議が、和歌山県内の生コンクリート工場(JIS表示認証工場) 43工場、そのうち11工場は第三者(行政監査員) 同行で平成29年9月1日から平成29年10月31日までの期間に全国統一品質管理監査基準(平成29年度版) に則り立入監査を実施した結果を取り纏めたものです。

監査は、公正・中立・透明性を旨とし和歌山県生コンクリート品質管理監査会議から任命された品質管理監査員により実施しました。

監査には、平成29年度 全国統一品質管理監査チェックリストに基づき、経営者の品質方針から製品の検査まで、工場全体にわたる品質管理状況を監査し、基準を満足しない項目については、その内容に応じた改善指導を行いました。

なお、実地検査で作製したコンクリート供試体は、県内各認定共同試験場にて圧縮強度試験を実施しました。

和歌山県生コンクリート品質管理監査会議では、今後とも生コンクリートの品質に対しユーザーからより高い評価と信頼が得られるよう、今回の評価に甘んじることなくより一層の研鑽を図ってまいりたいと考えております。

最後に監査に立会いを頂きました皆様方をはじめ、関係各位に対し感謝申し上げるとともに、生コンクリート製造に係る品質管理の現状についてご認識とご理解を頂ければ幸甚の至りでございます。

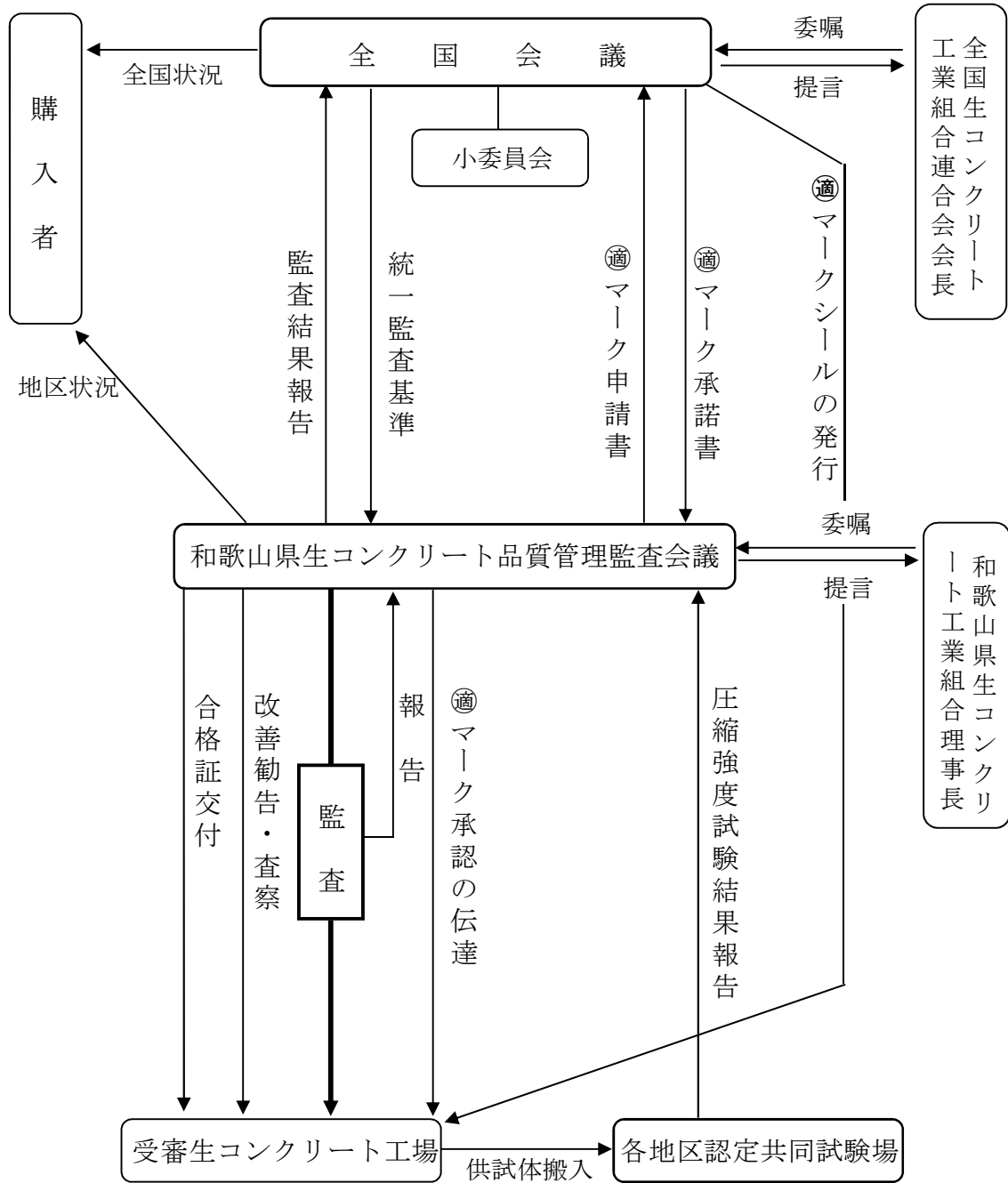
平成29年12月

和歌山県生コンクリート品質管理監査会議

議長 中本純次



全国统一品質管理監査制度の仕組み



## 和歌山県生コンクリート品質管理監査会議委員名簿

議 長		
中 本 純 次	和歌山工業高等専門学校	教 授
副 議 長		
中 家 啓 造	和歌山県 県土整備部 県土整備政策局 技術調査課	課 長
特 別 委 員		
田 中 克 己	国土交通省 近畿地方整備局 和歌山河川国道事務所 工物品質管理官	
相 馬 昇	国土交通省 近畿地方整備局 和歌山港湾事務所	副所長
前 中 伸 之	和歌山県 県土整備部 都市住宅局 公共建築課	課 長
佐々本 治	和歌山市 財政局 財政部 工事検査課	課 長
西 口 伸	(株)浅川組 常務取締役 事業本部	副本部長
池 内 茂 雄	一般社団法人 和歌山県建築士会	会 長
南 方 久 雄	株式会社 小池組 執行役員	土木部長
川 口 幸 大	株式会社 東組	専務取締役
生 産 者 側 委 員		
上 田 純 也	和歌山県生コンクリート工業組合	副理事長
中 西 正 人	和歌山県生コンクリート工業組合	副理事長
梶 田 耕 一	和歌山県生コンクリート工業組合	副理事長
中 山 道 雄	和歌山県生コンクリート工業組合	副理事長
宮 脇 勝 政	和歌山県生コンクリート工業組合	副理事長
森 田 敏 行	和歌山県生コンクリート工業組合	副理事長
大 江 一 元	和歌山県生コンクリート工業組合	副理事長
小 森 正 剛	和歌山県生コンクリート工業組合 和歌山県生コンクリート品質管理監査会議	監査統括責任者



## I. 品質管理監査実施工場

### (1) 監査実施工場数

品質管理監査実施工場：43工場

内訳（工業組合員工場 42 工場 工業組合員外工場 1 工場）

### (2) 監査実施期間

平成29年9月1日から平成29年10月31日

### (3) 地区別監査実施工場数

地区名	実施工場数	地区名	実施工場数
橋本・伊都	4 (1)	紀 南	5
紀 北	3	大 辺 路	3
和 歌 山	8	串 本	3
中 紀	6	新 宮	4
日 高	7		
合 計	43 (1)		

( ) は、工業組合員外工場数

## II. 品質管理監査結果

### 1. 品質管理監査の概要

今年度は、生産者側技術者の中から選ばれ、当監査会議より任命された監査員25名が、2名1組で対象工場への立入検査を行なった。

また、国交省、和歌山県、和歌山市の職員12名の方にも、監査についての事前研修を受講して頂き、監査対象工場の内11工場への立会をお願いした。

立入検査の内容は、平成29年度全国統一品質管理監査基準に定められた調査項目により行った。その内訳は下記のとおりである。

調査名	項 目	評価基準	望ましい基準
A 総括的事項	1. 経営者の責任	3	
	2. 社内標準化	3	
	3. 技術力の確保	2	2
	4. 教育・訓練	1	
	5. 不適合の管理	4	
	6. 環境保全	4	
	7. 文書及び品質記録の管理	3	
B 個別的事項	<b>【1. 製品の管理基準】</b>		
	1. 製品品質の明確化	2	
	2. 契約内容の確認	2	
	3. 容積	2	
	<b>【2. 配合設計基準】</b>		
	1. 配合設計手順	1	
	2. 設計ソフト事項	1	
	3. 標準配合表の作成	1	
	4. 配合の変更と修正	2	
	5. 基礎資料	1	
	<b>【3. 原材料の管理基準】</b>		
	1. セメント	4	
	2. 骨材	9	2
	3. 水	2	
4. 混和材料	3		

調査名	項目	評価基準	望ましい基準
B 個別的事項	<b>【4. 工程管理基準】</b>		
	1. 目標品質の明確化	1	
	2. 配合の管理	8	
	3. 材料の計量	3	1
	4. 練混ぜ	9	1
	5. 運搬	6	
	6. 付着モルタル	1	
	<b>【5. 設備の管理基準】</b>		
	1. 製造設備の管理	21	5
	2. 検査設備の管理	6	
	<b>【6. 外注管理基準】</b>		
	1. 外注管理	8	
	C 実地調査	1. 計量精度の検査	1
2. 製品の検査		4	
3. 容積の検査		1	
合計	130	119	11

## 2. 監査の評価・判定基準

監査項目119項目について、それぞれの達成度に応じてA（全て満足）B（満足しない項目がある）C（不満足）、評価対象外の4段階評価、又はA・B・C評価、A・C・評価対象外の3段階、A、Cの2段階評価を行う。

2.1 評価は減点法とし、その減点数を表-1~8に示す

2.2 適合判定基準

条件1：評価方法は減点法とし、減点数の合計(トータル減点数)が20点以下を適合と判定

条件2：実地調査における C0101（材料の計量精度）C0201（圧縮強度）C0202（スランプ又はスランプフロー及び空気量）C0205（塩化物含有量）がいずれもC評価でないこと

条件3：A0301（コンクリート技士等）A0302（QMR）B1102（製品の適合性確認）B3104（セメント入荷時の確認）B3204（骨材入荷時の確認）B3205（貯蔵骨材の現認）B4405（強度検査）B5102（セメントの品種別貯蔵）の評価は、いずれもC評価でないこと。

2.3 「望ましい事項」11項目については、平成29年度も判定基準の対象外とする。

3. 監査結果の総括

A. 総括的事項の調査

表-1

項目	監査基準	評価工場数				減点数		
		A	B	C	対象外	A	B	C
1. 経営者の責任	品質方針 A0101	43	0	0		0	-2	-4
	マネジメントレビュー A0102	43	0	0		0	-2	-4
	ミーティング会議 A0103	43		0		0		-8
2. 社内標準化	責任と権限 A0201	43	0	0		0	-2	-4
	品質管理業務の標準化 A0202	43	0	0		0	-2	-4
	社内規格の見直し A0203	42	1	0		0	-2	-4
3. 技術力の確保	コンクリート技士等 A0301	40	3	0		0	-10	不適
	QMR A0302	43	0	0		0	-10	不適
4. 教育・訓練	教育・訓練 A0401	43	0	0		0	-2	-4
5. 不適合の管理	是正処置 A0501	43	0	0		0	-2	-4
	予防処置 A0502	41	2	0		0	-2	-4
	不適合の管理 A0503	42		1		0		-4
	苦情処理 A0504	43	0	0		0	-2	-4
6. 環境保全	環境保全 A0601	43		0		0		-8
	中和装置 A0602	25		0	18	0		-8
	産業廃棄物処理 A0603	43		0		0		-8
	排水管理 A0605	21		0	22	0		-8
7. 文書及び品質記録の管理	文書の識別 A0701	34	9	0		0	-2	-4
	記録の識別 A0702	43	0	0		0	-2	-4
	ASR試験記録の永久保存 A0703	43	0	0	0	0	-2	-4

【A. 総括的事項の調査判定内容】

2. 社内標準化

**A0203 (社内規格の見直し)**

B判定-1工場

社内規格の配布状況に関する書類不備

3. 技術力の確保

**A0301 (コンクリート技士等)**

B判定-3工場

常駐の資格者不足(コンクリート技士1名)

5. 不適合の管理

**A0502 (予防処置)**

B判定-2工場

記録に関する指摘

**A0503 (不適合の管理)**

C判定-1工場

記録に関する指摘

7. 文書及び品質記録の管理

**A0701 (文書の識別)**

B判定-9工場

外部文書最新版不足

※上記以外の項目は全て『A評価』又は『評価対象外』であった

B. 個別的事項の調査

1. 製品の管理基準

表-2

項 目	監査基準	評価工場数				減点数		
		A	B	C	対象外	A	B	C
1. 製品品質の明確化	製品の要求品質 B1101	43		0		0		-8
	製品の適合性確認 B0102	43		0		0		不適
2. 契約内容の確認	契約内容の確認 B1201	43	0	0		0	-2	-4
	契約内容の伝達 B1202	43	0	0		0	-2	-4
3. 容積	容積の管理基準 B1301	43		0		0		-8
	容積の検査 B1302	43		0		0		-8

2. 配合設計基準

表-3

項 目	監査基準	評価工場数				減点数		
		A	B	C	対象外	A	B	C
1. 配合設計手順	配合設計手順 B2101	43		0		0		-8
2. 設計入力事項	設計入力事項 B2201	43		0		0		-8
3. 標準配合表作成	標準配合表 B2301	43		0		0		-8
4. 配合の変更と修正	配合変更条件 B2401	43		0		0		-8
	配合修正条件 B2402	43		0		0		-8
5. 基礎資料	基礎資料 B2501	43		0		0		-8

3. 原材料の管理基準

表-4

項 目	監査基準	評価工場数				減点数		
		A	B	C	対象外	A	B	C
1. セメント	セメントの要求品質等 B3101	43		0		0		-8
	セメントの受入検査 B3102	43		0		0		-8
	セメントの圧縮強さ B3103	43		0		0		-8
	セメント入荷時の確認 B3104	43		0		0	-8	不適
2. 骨材	骨材の要求品質等 B3201	43		0		0		-8
	骨材の受入検査 B3203	43		0		0		-8
	骨材入荷時の確認 B3204	43		0		0	-8	不適
	貯蔵骨材の現認 B3205	43		0		0		不適
	骨材のアルカリ反応抑制対策 B3207	43		0		0		-8
	人工軽量骨材の保管管理 B3208	0		0	43	0		-8
	納入業者からの骨材購入 B3209	39		0	4	0		-8
	予め混合した骨材 B3210	0		0	43	0		-8
回収骨材 B3211	0		0	43	0		-8	
2. 水	水の要求品質等 B3301	43		0		0		-8
	水の検査 B3302	42		0	1	0		-8
3. 混和材料	混和材料の要求品質等 B3401	43		0		0		-8
	混和材料の受入検査 B3402	43		0		0		-8
	JIS規定外混和材料の受入検査 B3403	0		0	43	0		-8

4. 工程管理基準

表-5

項 目	監査基準	評価工場数				減点数		
		A	B	C	対象外	A	B	C
1. 目標品質の明確化	目標品質の明確化 B4101	43		0		0		-8
2. 配合の管理	細骨材の粗粒率 B4201	43		0		0		-8
	骨材の併用 B4203	43		0		0		-8
	粗骨材の粗粒率 B4204	43		0		0		-8
	細骨材の表面水率 B4205	43		0		0		-8
	粗骨材の表面水率 B4206	43		0		0		-8

項目	監査基準	評価工場数				減点数		
		A	B	C	対象外	A	B	C
2. 配合の管理	スラッジ固形分率管理 B4207	0		0	43	0		-8
	人工軽量骨材の含水率 B4208	0		0	43	0		-8
	回収骨材の使用方法及び置換率 B4209	0		0	43	0		-8
3. 材料の計量	材料計量方法 B4301	43		0		0		-8
	動荷重検査 B4302	43		0		0		-8
	計量記録の整備 B4303	43		0		0		-8
4. 練混ぜ	練混ぜ方法 B4401	43		0		0		-8
	スラップ・容量の目視 B4403	43		0		0		-8
	スラップ又はスラップフロー検査 B4404	43		0		0		-8
	強度検査 B4405	43		0		0		不適
	空気量検査 B4407	43		0		0		-8
	塩化物含有量検査 B4408	43		0		0		-8
	単位容積質量（軽量） B4409	0		0	43	0		-8
	コンクリート温度 B4410	43		0		0		-8
	高強度コンクリートの単位水量 B4412	1		0	42	0		-8
5. 運搬	運搬時間 B4501	43	0	0		0	-4	-8
	残水の排出 B4502	43		0		0		-15
	ドラム内への加水禁止 B4503	43		0		0		-15
	雨水対策 B4504	43	0	0		0	-2	-4
	誤納防止 B4505	43		0		0		-15
	納入書 B4506	43		0		0		-8
6. 付着モルタル	付着モルタル再利用 B4601	0		0	43	0		-8

5. 設備の管理基準

表-6

項目	監査基準	評価工場数				減点数		
		A	B	C	対象外	A	B	C
1. 製造設備の管理	セメント貯蔵設備 B5101	43		0		0		-8
	セメント品種別貯蔵 B5102	43		0		0	-8	不適
	骨材貯蔵設備 B5103	43		0		0		-8
	細骨材貯蔵設備の上屋 B5105	43	0	0		0	-4	-8
	粗骨材貯蔵設備の上屋 B5106	40	1	2		0	-2	-4
	コンベアのカバー B5107	43	0	0		0	-4	-8
	骨材のプレウェッティング設備 B5109	0		0	43	0		-8
	骨材の受入・供給システム B5110	43	0	0		0	-2	-4
	混和材料貯蔵設備 B5111	43		0		0		-8
	静荷重検査 B5112	43		0		0		-8
	電気式校正器 B5113	41		0	2	0		-8
	容量変換装置 B5115	43		0		0		-8
	細骨材表面水率補正装置 B5117	43		0		0		-8
	粗骨材表面水率補正装置 B5118	42	1	0		0	-2	-4
	混和剤過剰添加防止装置 B5119	43		0		0	-2	-4
	計量印字記録装置 B5120	43		0		0	-2	-4
	ミキサ練混ぜ性能 B5121	43		0		0		-8
	運搬車性能検査 B5123	43		0		0		-8
スラッジ水の濃度測定器具又は装置 B5124	0		0	43	0		-8	
スラッジ水濃度調整設備 B5125	0		0	43	0		-4	
スラッジ水の自動演算装置 B5126	0		0	43	0		-8	
2. 検査設備の管理	検査設備 B5201	43		0		0		-8
	試し練りミキサ B5202	39		4		0		-2
	機器の保護手段 B5203	43		0		0		-8
	養生水槽の管理 B5204	43		0		0		-8
	機器の校正 B5206	43		0		0		-8
	校正状態の識別 B5207	43		0		0		-8

【B. 個別的事項の調査判定内容】

1. 製造設備の管理

**B5106 (粗骨材貯蔵設備の上屋)**

粗骨材貯蔵設備の上屋一部不備 1工場

粗骨材貯蔵設備の上屋不備 2工場

**B5118 (粗骨材表面水率補正装置)**

記録に関する指摘

2. 検査設備の管理

**B5202 (試し練りミキサ)**

記録に関する指摘

B判定-1工場

C判定-2工場

B判定-1工場

C判定-4工場

※上記以外の項目は全て『A評価』又は『評価対象外』であった

6. 外注管理基準

表-7

項 目	監査基準	評価工場数				減点数		
		A	B	C	対象外	A	B	C
1. 外注管理	材料試験の外注 B6101	43		0	0	0		-8
	製造設備管理の外注 B6102	43		0	0	0		-8
	検査設備管理の外注 B6103	43		0	0	0		-8
	運搬車性能試験の外注 B6104	1		0	42	0		-8
	運搬の外注 B6105	36		0	7	0		-8
	工程管理試験の外注 B6106	0		0	43	0		-8
	製品試験の外注 B6107	0		0	43	0		-8
	容積試験の外注 B6108	0		0	43	0		-8

※ 6. 外注管理基準ではすべて『A評価』又は『評価対象外』であった

C. 実地調査

・ 抜取試料の概要

表-8

項目	監査基準	評価工場数				減点数		
		A	B	C	対象外	A	B	C
1. 計量精度の検査	材料の計量精度 C0101	42	1	0		0	-8	不適
2. 製品の検査	圧縮強度(強度比1.5以上は-1点) C0201	43	0	0		0	0	不適
	スランブ <sup>®</sup> 又はスランブ <sup>®</sup> フロー及び空気量 C0202	43	0	0		0	-10	不適
	コンクリート温度 C0203	43	0	0		0		-8
	塩化物含有量 C0205	43		0		0		不適
3. 容積の検査	容積 C0206	43		0		0		-10

監査当日に出荷されるコンクリートの中から、原則としてJIS規格品またはJIS規格相当品で、かつ圧縮強度の管理実績のある任意の配合を選び適合性の確認を行った。

受審43工場における抜取資料の呼び強度、スランブ、粗骨材の最大寸法及びセメントの種類を下表に示す。

呼び強度 (N/mm <sup>2</sup> )		18~21	24以上
工場数		39	4
配合条件による工場数	スランブ	15cm未満	30
		15cm以上	9
セメントの種類	普通セメント	12	4
	早強セメント	0	0
	高炉セメント	27	0
粗骨材の最大寸法 (mm)	20mm	20	3
	25mm	7	1
	40mm	12	0

① 計量精度の検査

C0101 (材料の計量精度)

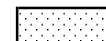
B判定-1工場

2回目の動荷重検査で合格

(動荷重検査の結果)

材料名	計量誤差		計量誤差 (%)								
			-4	-3	-2	-1	0	1	2	3	4
セメント	±1%	個数	0	0	0	4	44	4	0	0	0
		(%)	0.0	0.0	0.0	7.7	84.6	7.7	0.0	0.0	0.0
水	±1%	個数	0	0	0	4	44	4	0	0	0
		(%)	0.0	0.0	0.0	7.7	84.6	7.7	0.0	0.0	0.0
細骨材	±3%	個数	0	0	4	14	59	11	1	0	0
		(%)	0.0	0.0	4.5	15.7	66.3	12.4	1.1	0.0	0.0
粗骨材	±3%	個数	0	1	5	23	64	17	0	0	0
		(%)	0.0	0.9	4.5	20.9	58.2	15.5	0.0	0.0	0.0
混和剤	±3%	個数	0	0	1	10	25	19	1	1	0
		(%)	0.0	0.0	1.8	17.5	43.8	33.3	1.8	1.8	0.0

※計量誤差範囲外



## ② 製品の検査

### C0201 (圧縮強度)

圧縮強度の適合性については、下表の通り圧縮強度比が1.0以上であり  
全て「A評価」であった。

尚、試験は、県下各認定共同試験場で実施した。

呼び強度	工場数	圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )			圧縮強度比		
		最大値	最小値	平均値	最大値	最小値	平均値
18	16	31.0	20.0	25.7	1.72	1.11	1.42
21	23	35.9	23.9	29.5	1.71	1.14	1.40
24	3	33.0	26.8	30.7	1.38	1.12	1.28
27	1	37.8	37.8	37.8	1.40	1.40	1.40

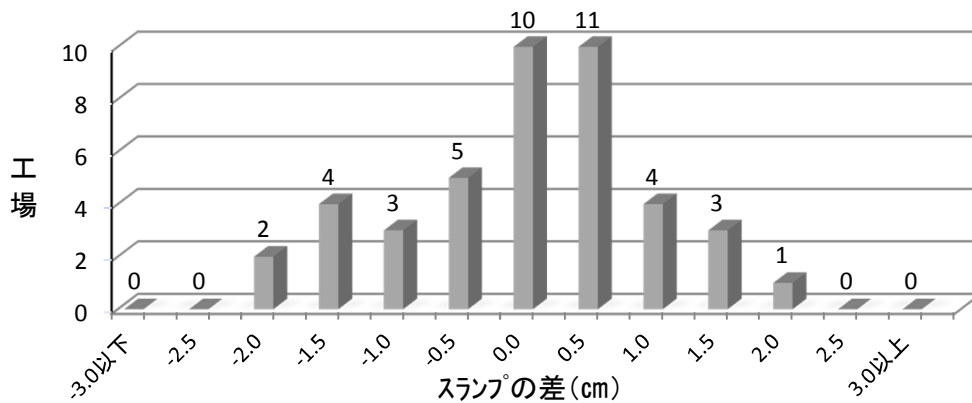
### C0202 (スランプ又はスランプフロー及び空気量)

スランプ及び空気量の適合性については、全て「A評価」であった。

(スランプ試験差の結果)

(規格値±2.5cm)

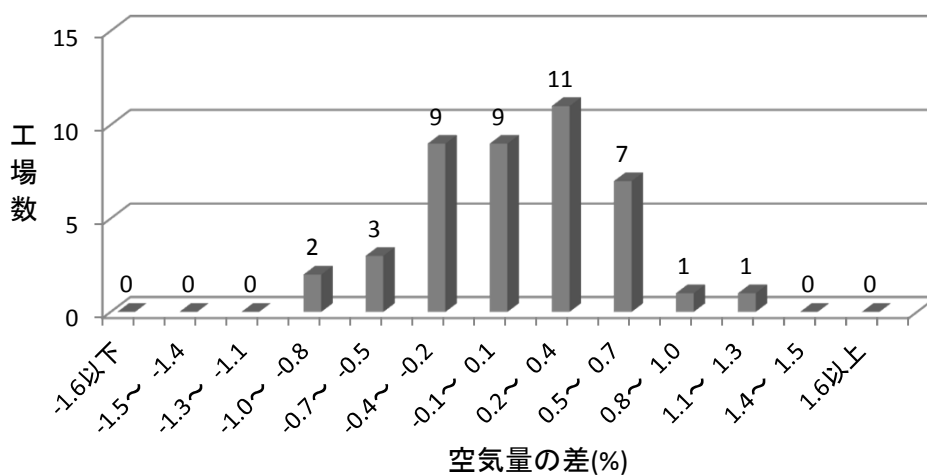
スランプの差	3.0以下	-2.5	-2.0	-1.5	-1.0	-0.5	0.0	0.5	1.0	1.5	2.0	2.5	3.0以上
工場数	0	0	2	4	3	5	10	11	4	3	1	0	0



(空気量試験差の結果)

(規格値±1.5%)

空気量の差 (%)	-1.6以下	-1.5~-1.4	-1.3~-1.1	-1.0~-0.8	-0.7~-0.5	-0.4~-0.2	-0.1~0.1	0.2~0.4	0.5~0.7	0.8~1.0	1.1~1.3	1.4~1.5	1.6以上
工場数	0	0	0	2	3	9	9	11	7	1	1	0	0





### C0205 (塩化物含有量)

塩化物含有量の適合性については、規定値0.30kg/m<sup>3</sup>を超える工場は無く全て「A評価」であった。

(規格値0.3kg/m<sup>3</sup>)

塩化物量 (kg/m <sup>3</sup> )	工場数
0.00~0.05	34
0.06~0.10	8
0.11~0.20	1
0.21~0.30	0

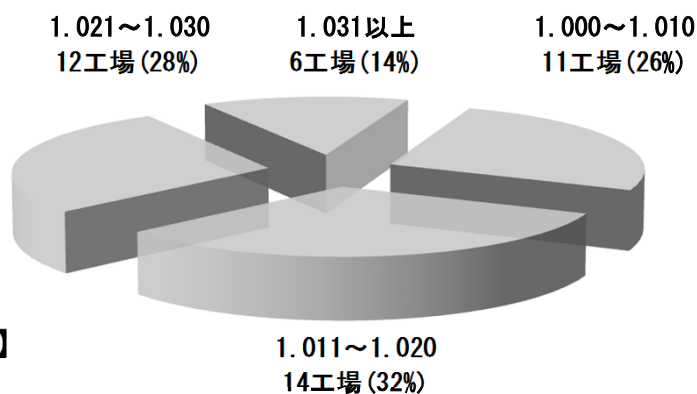
### ③ 容積の検査

#### C0206 (容積)

容積の適合性については、下記のとおり全て「A評価」であった。

#### 【容積比】

容積比	1.000未満	1.000~1.010	1.011~1.020	1.021~1.030	1.031以上
工場数	0	11	14	12	6
比率%	0	26	32	28	14



#### 【容積比率】

### D クロージング会議経営者の出欠

基準分類	項目	監査基準	評価工場数			評価点数		
			A	B	C	A	B	C
経営者の責任	クロージング会議経営者の出欠	A0103	43	0	0	0	0	-8

クロージング会議には、すべての工場で、経営に携わる取締役以上の役職者が出席された。

III 平成29年度 全国統一品質管理監査結果集計表

平成29年度全国統一品質管理監査結果集計表

平成29年度  
B調査表

和歌山県生コンクリート品質管理監査会議

A総括的事項の調査(20項目)			B個別的事項の調査(93項目)			望ましい事項の調査(11項目)									
項目	A	B	C	項目	A	B	C	項目	A	B	C	S			
A0101 品質方針	43			B1101 製品の要求品質	43			B5101 セット貯蔵設備	43			A0303 コンクリート主任技士	19	1	23
A0102 フォンタムビュー	43			B1102 製品の適合性確認	43			B5102 セットの品種別貯蔵	43			A0304 特殊コンクリートの製造技術力	23	2	18
A0103 コーキング会議	43			B4201 細骨材の粗粒率	43			B5103 骨材貯蔵設備	43			B3202 骨材製造業者による品質保証	22	2	21
A0201 責任と権限	43			B4202 骨材の併用	43			B5105 細骨材貯蔵設備の上屋	43			B3206 細骨材表面水準の安定化	37	1	61
A0202 品質管理業務の標準化	43			B4204 粗骨材の粗粒率	43			B5106 粗骨材貯蔵設備の上屋	40	1	2				
A0203 社内規格の見直し	42	1		B4205 細骨材の表面水準	43			B5107 コーナのカー	43			B4304 細骨材表面水準の管理	43		
				B4206 細骨材の表面水準	43			B5109 骨材のフックアップ設備							
				B4207 スラック固形分率管理				B5110 骨材の受入・供給システム	43			B4411 単位水量	4	16	23
A0301 コンクリート技士等	40	3		B4208 人工軽集骨材の含水率	43			B5111 混和材料貯蔵設備	43						
A0302 QMR	43			B4209 回収骨材の使用方法及び回収率	43			B5112 静荷重検査	43			B5104 粗骨材の2分割貯蔵	27	1	16
A0401 教育・訓練	43			B4301 材料計算方法	43			B5113 電気式校正器	41	2		B5108 表面水準連続測定装置	1	9	33
A0501 是正処置	43			B4302 動量検査	43			B5115 容量交換装置	43			B5114 分銅	33	10	
A0502 予防処置	41	2		B4303 計量記録の整備	43			B5117 細骨材表面水準修正装置	43			B5120* 単位量自動算出機能付き計量印字記録装置	43		
A0503 不適合品の管理	42	1		B4401 縛混せ方法	43			B5118 粗骨材表面水準修正装置	42	1		B5122 運転車への管理	36	4	3
A0504 苦情処理	43			B4403 スラック・容積の目視	43			B5119 混和剤過剰添加防止装置	43						
A0601 環境保全	43			B4404 スラック又はスラックロー検査	43			B5120 計量印字記録装置	43						
A0602 中和装置	25	18		B4405 強度検査	43			B5121 サキサリ混せ性能	43						
A0603 産業廃棄物処理	43			B4407 空量検査	43			B5123 運転車性能検査	43						
A0605 排水管理	21	22		B4408 塩化物含有量検査	43			B5124 スラック水の濃度測定器具又は装置	43			C0101 材料の計量精度	42	1	
				B4409 単位容積質量(軽量)	43			B5125 スラック水の濃度調整設備	43			C0201 圧縮強度(強度比1.50以上1.6以下)	43		
				B4410 コンクリート温度	43			B5201 検査設備	43			C0202 S277又はS277P-及び空質量	43		
				B4412 高強度コンクリートの単位水量	1			B5202 試し練り試片	39	4		C0205 コンクリート温度	43		
A0701 文書の識別	34	9		B4501 運搬時間	43			B5203 機器の保護手段	43			C0205 塩化物含有量	43		
A0702 記録の識別	43			B4502 残水の排出	43			B5204 養生水槽の管理	43			C0206 容積	43		
A0703 ASR試験記録の永久保存	43			B4503 トラ内への加水禁止	43			B5206 機器の校正	43						
				B4504 雨水対策	43			B5207 校正状態の識別	43						
				B4505 誤納防止	43			B6101 材料試験の外注	43						
				B4506 納入書	1			B6102 製造設備管理の外注	43						
				B4601 付着バルク再利用	43			B6103 検査設備管理の外注	43						
								B6104 運転車性能試験の外注	1						
								B6105 運転の外注	36						
								B6106 工程管理試験の外注	43						
								B6107 製品試験の外注	43						
								B6108 容積試験の外注	43						

#### Ⅳ 平成29年度 全国統一品質管理監査受審工場名簿

工場名	郵便番号	住所	電話番号
ニューリンクコンクリート株式会社	648-0043	橋本市学文路191番地-2	0736-33-3432
ニューリンクコンクリート株式会社 第二工場	648-0086	橋本市神野々1224-1	0736-26-7573
有限会社紀北東生コン かつらぎ工場	649-7155	伊都郡かつらぎ町島337-1	0736-22-1293
有限会社紀北東生コン ねごろ工場	649-6202	岩出市根来782番地	0736-69-0730
有限会社紀北西生コン 貴志川工場	640-0411	紀の川市貴志川町前田37	0736-64-3755
株式会社上山商店 琴浦生コンクリート工場	641-0014	和歌山市毛見1436	073-445-5111
海南バイコンクリート株式会社	642-0035	海南市冷水325-46	073-484-3181
有限会社紀州生コン	640-0342	和歌山市松原394番地	073-479-0740
株式会社酒直レミコン	640-8404	和歌山市湊1334番地	073-431-1388
大弘平和共同プラント株式会社	640-8404	和歌山市湊1342-4	073-427-6006
株式会社大東陽	649-6262	和歌山市上三毛968	073-477-1171
丸山生コンクリート株式会社	640-1244	海草郡紀美野町福田781	073-489-2774
和歌山共同建材株式会社	640-8404	和歌山市湊1850番地	073-453-8902
有田生コンクリート産業株式会社	649-0302	有田市山田原107	0737-83-2451
オレンジ生コン株式会社 清水工場	643-0521	有田郡有田川町清水803番地-1	0737-25-1168
東亜生コン株式会社	649-0307	有田市初島町里601	0737-83-5588
有限会社中屋生コン	643-0163	有田郡有田川町修理川287	0737-32-2397
オレンジ生コン株式会社 広川工場	643-0054	有田郡広川町前田699-6	0737-63-2338
湯浅生コン株式会社	643-0004	有田郡湯浅町大字湯浅新屋敷2977番地	0737-63-1141
有限会社印南生コンクリート	649-1522	日高郡印南町古井188-1	0738-45-0231
中津産業協同組合	644-1122	日高郡日高川町高津尾1606-1	0738-54-0339
日高生コンクリート株式会社	644-0025	御坊市塩屋町北塩屋676	0738-22-1286
美山生コンクリート株式会社	644-1212	日高郡日高川町川原河472番地	0738-56-0345
株式会社山久 由良生コンクリート工業所	649-1104	日高郡由良町江の駒448-6	0738-65-1133
株式会社セイシン・レミコン	649-1221	日高郡日高町大字志賀字岩戸4339-1	0738-65-1777
株式会社セイシン・マテリアル	644-0003	御坊市島外川原1093番地	0738-24-2511
共栄ナマコン協同組合	645-0302	田辺市龍神村甲斐ノ川1134	0739-77-0331
株式会社清本組	649-2105	西牟婁郡上富田町朝来2079	0739-47-2799
南紀田辺生コン有限責任事業組合 きのくに生コン工場	646-0216	田辺市下三栖1475番地-105	0739-25-9303
南部生コン工業株式会社	645-0011	日高郡みなべ町気佐藤657	0739-72-4314
口熊野生コンクリート製造有限会社	649-2321	西牟婁郡白浜町保呂1	0739-45-1533
日置川開発株式会社 日置川生コン	649-2511	西牟婁郡白浜町日置728	0739-52-2015
株式会社尾花組 生コン工場	649-2621	西牟婁郡すさみ町周参見字大串4572	0739-55-2502
株式会社田所建設 すさみ生コン工場	649-2621	西牟婁郡すさみ町周参見1330-1	0739-55-3053
株式会社 明神コンクリート	649-4226	東牟婁郡古座川町明神78	0735-78-0007
株式会社小森組 生コンクリート部	649-3513	東牟婁郡串本町高富120	0735-62-1335
千鳥建設株式会社 二色工場	649-3512	東牟婁郡串本町二色365	0735-62-1394
セントラルコンクリート株式会社	647-1222	新宮市熊野川町東敷屋278番地-2	0735-47-8222
岡本土石工業株式会社 生コンクリート部 新宮工場	647-1103	新宮市南松杖519-1	0735-21-2422
株式会社日比野生コン 新宮工場	647-1102	新宮市相賀695-2	0735-29-0311
株式会社日比野生コン 勝浦工場	649-5336	東牟婁郡那智勝浦町湯川897-103	0735-52-5515
有限会社山水生コン	648-0402	伊都郡高野町東富貴713番地	0736-53-2244
スカイコンクリート	643-0614	伊都郡かつらぎ町花園新子256-2	0737-26-0154